

習志野市立第二中学校 国語科 第2学年 シラバス

【学習の目標等】

- ・ 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- ・ 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・ 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【評価の観点及び内容、方法】

| 観点 | 内容 | 方法 |
|---------------|---|-------------------------------|
| 知識・技能 | 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすること。 【語彙・漢字・文法】 | ・ 定期テスト ・ 漢字テスト ・ 成果物 |
| 思考・判断・表現 | 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすること。 【話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと】 | ・ 定期テスト ・ 発表の様子 ・ 成果物 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度。 【学習習熟度・取り組みや発表の様子・成果物の様子】 | ・ 授業の様子 ・ 成果物 ・ 振り返りシート |

【教科担任からのメッセージ】

(1) 国語科の学習について

国語科では、文章読解（読むこと）をはじめ、語彙、話すこと・聞くこと・書くこと書写など、幅広い領域の学習を行っていきます。さらに、それらの学習内容のほとんどは、今後の社会生活でも必要になる力です。日々の授業を大切にするとともに、失敗を恐れず、積極的な姿勢で学習に臨みましょう。

(2) 授業の持ち物

教科書・ノート・漢字ワーク・ワーク・ファイル ※必要に応じて辞書・資料集

(3) 授業の進め方・学習のポイント

毎授業、漢字学習の時間を設定します。継続的に学習を進めていきましょう。国語の授業では、自分で学習課題に取り組む時間が多くあります。課題へ取り組むことはもちろん、答えの確認や解き直しなども大切にしましょう。特に、文章の添削などはいつでも受け付けます。

(4) 家庭学習について

漢字を始めとした語彙学習は、継続して行うことを推奨します。授業は单元ごとに進めていきます。ワークを活用して計画的に復習を行えると、定期テストの対策にもつながります。「短期集中でコツコツと！」を合言葉に、家庭学習の習慣化を図りましょう。

【学習計画】（週時間数 4時間）

| | 題材・学習内容 | 学習のねらい |
|---------|--|--|
| 1 学期 | <ul style="list-style-type: none"> ○虹の足 ○いろいろな立場や考えを踏まえる ○タオル ○活用のない自立語 ○新聞の投書を書く ○まちがえやすい漢字 ○日本の花火の楽しみ ○水の山 富士山 ○課題を設定して伝える ○敬語 ○手紙・メールを整える ○夢を跳ぶ ○話し言葉と書き言葉 ○相違点を明確にして聞く ○SNSから自由になるために ○漢字の成り立ち | <ul style="list-style-type: none"> ・情景を表す比喻や象徴、言葉などに注意して読む。 ・異なる立場や考えを取り上げて、ニュースやできごとの紹介をする。 ・登場人物の設定の仕方や人物どうしの関係を捉える。 ・活用のない自立語のはたらきを理解する。 ・社会生活の中から題材を決め、材料を整理し伝えたいことを明確にする。 ・似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。 ・主張と例示の関係を捉え、説明の仕方という観点に着目して読み比べる。 ・情報の関係を踏まえ、根拠の適切さや論の展開に注意して話を構成する。 ・資料や機器などを用いて自分の考えをわかりやすく伝える。 ・敬語のはたらきや特徴について知る。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。 ・自分の課題に応じて資料を探し、さまざまな情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。 ・話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴を捉える。 ・情報の表し方を捉え、論理の展開に注意しながら聞く。 ・さまざまな種類の文章を構成する情報を整理し、それぞれの特徴を理解する。 ・漢字の成り立ちについての理解を深める。 |

| | | |
|-----------------|--|--|
| <p>2 学期</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○不平等のない社会を考える ○紙の建築 ○構成を明確にして説明文を書く ○活用のある自立語 ○敦盛の最期 ○随筆の味わい ○二千五百年前からのメッセージ ○坊っちゃん ○短歌の味わい ○夏の葬列 ○映像作品の表現を考える ○漢字の多義性 ○ガイアの知性 ○確かな根拠をもとに意見文を書く | <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。 ・具体と抽象などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 ・段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫する。 ・用言の活用と種類・用法を理解する。 ・登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。 ・作者のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 ・『論語』を読んで、孔子の考えを捉える。 ・わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 ・情景や心情を表す言葉に注意して読む。 ・人物の心情や場面に応じた言葉の使われ方を理解する。 ・絵コンテを構成する情報を整理し、理解する。 ・漢字の多義性についての理解を深める。 ・自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結びつけ、考えをまとめる。 ・適切な根拠を示して、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。 |
| <p>3 学期</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○学ぶ力 ○さまざまな考えを踏まえ討論をする ○付属語のいろいろ ○豚 ○走れメロス ○類義語・対義語・多義語・同音語 ○「連作ショートショート」を書く ○同音の漢字 | <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 ・出された情報からそれぞれの立場や考えの共通点や相違点を捉え話し合う。 ・付属語にはどのようなものがあるのかを知る。 ・言葉のもつ意味やイメージに注意して読む。 ・登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。 ・表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。 ・物語の構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考える。 ・同音の漢字についての理解を深める。 |